

### 1/23 アートを用いた新たな文化的体験を発表！

佐賀大学芸術地域デザイン学部最終報告会を開催しました。  
今年度は、アートを通して地域の暮らしと観光体験を結びつけた新たな観光資源の創出を目指し企画。武雄焼の陶片を使ったコースターやキーホルダー、武雄かるた、市の観光地をモチーフにしたおみくじの制作、市内のお気に入りスポットを描いてもらうワークショップなど、市民や観光客が共に楽しみながら体験しつつ、地域課題を解決する取組として実施したものを報告いただきました。

活動の様子は、学生が運営するInstagramでも発信されていますので、ぜひご覧ください。



Instagram  
【公式】げち子・F・武雄

### 1/29 南海トラフ地震に備え、臼杵市と防災連携

昨年の九州市長会において、南海トラフ地震で甚大な被害が想定される大分、宮崎、鹿児島県の3県17市に対し、即時に支援行動が行えるよう、受援市・支援市のマッチングが決定しました。受援市となった大分県臼杵市を小松市長及び防災担当者が訪問し、意見交換及び現地視察を行いました。臼杵市では南海トラフ地震で最大津波高5.75m、市街地の大半が浸水すると被害が想定されています。小松市長は「武雄市は、令和元年、3年と2度の大規模な水害に見舞われた。大規模災害においては支援力と受援力の両方が大事。先発隊として臼杵市を最大限支援したい」と述べました。



### 2/4 人権について語り合う

市の人権擁護委員の皆さまが市役所を訪問され、副市長との意見交換会が行われました。人権擁護委員は、法務大臣からの委嘱を受け、人権意識を高めるための啓発活動や人権相談などを行っています。意見交換会では、退任された大鋸 誠士さんと、新たに委嘱を受けられた岩谷 敏彦さん、再任された山口 松美さん、角 敬一郎さん、郡 正法さんをはじめ委員の皆さまの紹介を行った後、日頃の活動の報告やSNS等におけるいじめ、市における多文化共生などについて意見が交わされました。



### 2/9 武内小4年生、伝統を未来へ

武内小学校の4年生が、市内の子どもたちに向けて、武雄の伝統的な焼物である「武雄焼」を知ってもらうためのパンフレットを作成しました。武内小の4年生は、窯元を訪れたり、絵付け体験やろくろ回し体験、史跡の探訪や美術館の見学を行ってパンフレットを作成し、「武雄焼」をより身近に感じたり、市への愛着を育みました。  
完成したパンフレットは、今後市内の小学校に配布される予定です。



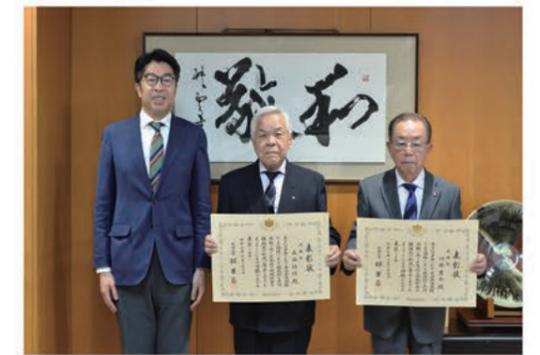
### 1/19 災害時に安心を EVで支える地域防災

株式会社ホンダカーズ中央佐賀様と、災害対応力向上に関する連携協定を締結しました。この協定は、大規模災害発生時の停電により電気が使用できないときに、株式会社ホンダカーズ中央佐賀様の電気自動車を地域避難所等に配備し、電力を供給できるようにするものです。小松市長は「この協定により地域避難所に電力を供給できる体制が整えられた。また、大雨時に貯水機能を持つ『Honda 武雄パーク asobiba』では、防災に関するイベントを開催されており、ますます市民の皆さまに防災や治水に関心を持っていただけることを期待している」と挨拶しました。



### 1/19 長年の地域活動が評価 総務大臣表彰受賞

令和7年度自治会等地域による団体功労者総務大臣表彰伝達式が行われ、武雄町蓬莱町区長を19年務められた長谷 信行様及び、北方町西杵区長を16年務められた川原 恵介様が表彰されました。これは自治会等の地域による団体の代表者として多年にわたり在職し、地域的共同活動を通じて良好な地域社会の維持及び形成に顕著な功績があったと認められる方に対し、総務大臣が表彰するものです。  
この度の受賞、誠にありがとうございます。



### 1/19 有限会社 宮副建設様がユースエール企業に認定

有限会社 宮副建設様が県内で77社目となるユースエール企業に認定されました。有限会社 宮副建設様は、木造建築工事業を行われている会社で、前事業年度における従業員（正社員）の月平均所定外労働時間が0.26時間等の各認定基準を満たされました。

ユースエール認定制度とは、若者の採用、育成に積極的で、若者の雇用管理の状況などが一定以上の基準を満たした優良な中小企業を、厚生労働大臣が認定する制度です。



### 1/22 ICTで広がる学びの可能性 最優秀賞を受賞

御船が丘小学校の木原 航教諭が「令和7年度教育におけるICT活用事例発表」において、「最優秀賞」を受賞されました。県庁にて行われた表彰式では、県内の小中学校部門受賞者を代表して挨拶され、今後の抱負を語られました。市では「子どもたちが、イキイキできる場所でワクワク学び、キラキラ活躍できる未来のために」という想いを掲げています。これからも、ICTを活用しながら、子どもたちの力を最大限に伸ばし、次の時代を担う人を育てる環境を、一丸となって整えていきます。  
この度の受賞、誠にありがとうございます。

